

## 山の播隆

江戸時代後期の念仏行者・播隆がその修行の道中山岳史上に残した功績は輝かしいものがある。文政年間（1818～1830）における伊吹山禅定、文政6年（1823）の笠ヶ岳再興、文政11年（1828）の槍ヶ岳開山、そして開山のその足で行なった穂高岳登拝。それらの偉業は播隆ひとりの力で行なわれたのではない。播隆を支えたのは当時の民衆の願い、祈りであった。



穂高より雲海の笠ヶ岳



播隆像 上條俊介作  
岳都・松本の玄関口（JR松本駅前）に建つ播隆像

- \* JR松本駅の播隆像前で7月中旬に播隆祭が行なわれる
- \* 槍ヶ岳山荘では9月の第1土曜日に播隆祭が行なわれる

発行 播隆祭実行委員会  
松本市中央1-23-1  
松本商工会議所内  
TEL 0263-32-5355

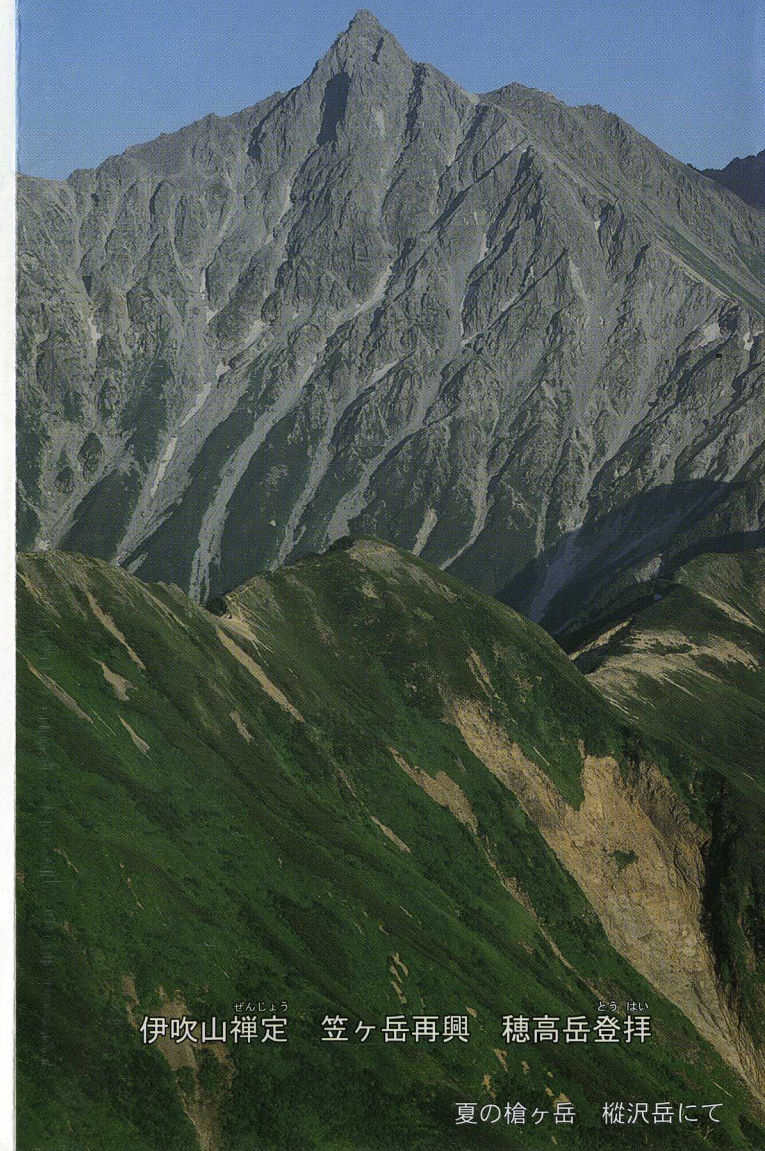
協賛 松本市市制施行100周年  
記念事業実行委員会  
槍ヶ岳山荘・槍沢ロッヂ

発行日 平成19年5月1日  
表紙写真 穂苅貞雄  
執筆/写真 黒野こうき  
協力 ネットワーク播隆



## 槍ヶ岳開山

播 隆  
ばん りゅう



伊吹山禅定<sup>ぜんじょう</sup> 笠ヶ岳再興 穂高岳登拝<sup>とうはい</sup>

夏の槍ヶ岳 樺沢岳にて

